

令和元年 10 月 (2019 年) No. 646

河合源七郎様がなくなられました (89 歳)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

会長合原一夫

去る 9 月 2 日、この 2 月に胃がんを宣告されて主に自宅療養をされていた河合源七郎さんが亡くなられ、家族葬が行われたと 17 日ご家族の方よりのお便りで初めて明らかになりました。大阪ムービーサークルを代表して、主たるメンバーが会を代表して 25 日、自宅を訪ねて仏前にお別れをいたしました。癌が見つかって半年後に亡くなられたとのことですが、例会で最後にお会いしたのが昨年の平成 30 年 12 月例会で、その時持参された「諏訪神社霜月祭」14 分 45 秒の作品が最後の作品となりました。

河合源七郎さんが入会されたのは、故上総修一郎相談役の紹介で 2000 年 (平成 12 年) 1 月例会で、この時あいさつ代わりに持参された作品は、「ラオスの素顔」10 分 20 秒の作品で、この時の講評は良い作品だと称えています。

入会された年、2000 年の OMC 映像フェスティバルには「青春躍動す」という、よさこい祭りをテーマにした作品を発表されています。

河合さんは、車で能登や東北地方へよく出掛けられ、各地の珍しい祭りや素朴な祭りや行事など精力的に映像に取り組み、立派な、そして貴重な作品をたくさん残されています。

お世話役としても、いろいろ活動していただきました。撮影会の企画、映写会の際の非常時の事も考慮した椅子の配置計画など緻密な計画をして頂いたこと等、氏の真面目で筋の通ったことをやるという一面を持った方でした。

今では感謝の気持ちで一杯です。まだまだお元気でいてほしかったです。河合さんは又、バラの世界での一人者で、いろいろ全国組織にかかわっていらっしゃいました。またお家には午年生まれの縁があって、馬にちなんだ手芸品や工芸品、絵馬や土産品に至るまで無数の品が 所狭しと並んでいたのが印象的でした。又、読書家でもあり蔵書の類も多くみられました。改めて、ご冥福をお祈りいたします。(合掌)

10 月例会のご案内

■10 月例会；10 月例会は、会場の都合により**第 3 土曜日 19 日 18 時より**、いつもの難波学習センターにて開催。1 週間早くなっていますのでお間違えなきようご注意ください。気候の変わり目、体調管理にご留意を。ご出席お待ちいたしています。

第59回

OMC映像フェスティバル 盛会にて無事終了

9月例会日の翌月9月29日(日)行われたOMC映像フェスティバルは、天気予報は下り坂で午後は雨かもしれないとの事だったが、曇り空のまま終日雨に降られず、映像発表会にとっては良い天候で観客の入場も上々だった。毎年、このOMCの映像発表会には期待して来て頂いている大勢の観客の皆さんがあつてこそ、59回目という長い歴史を重ねてこられたのだと思う。

最後の高瀬さんの作品上映の際、一時音声が出ないというトラブルがあつたのは残念だったが、他は大してトラブルも無く途中で帰る人も見当たらず、終わって皆さん良かったと感謝の挨拶をされているのを見て、有難うと感謝感激でした。これも会員諸氏のご協力のお陰と感謝いたします。

来年は第60回

OMC映像フェスティバルです

何より良い作品を作して下さい

会員さんが減って会計事情が次第に苦しくなっていく中で、来年の第60回記念発表会をどのように持っていくか、頭の痛い課題である。第50回記念の際は、朝日生命ホールで華々しく開催し、プログラムも豪華なB4二つ折りの立派なものだったが、来年はどうするか、経費減で今年のOMC発表会のプログラムは、ハガキにして印刷代や切手代を軽減したが、第60回記念は、どこで、どういうプログラムで、というこれから詰めなければならない課題は山積する。しかし、いずれにしても発表する各自の作品の良し悪しが基本的に一番大事なことである。観客の皆さんが来て観て良かったという感動でお帰り願える様な発表会にしたいものである。

作品選定、プログラム準備まであと10ヶ月。会員各自、それぞれがグランプリと言えるような作品を一本作って下さい。これが60回記念発表会の大きな目標と」しませんか。

課題コン「望」に10名応募

高瀬作品が最優秀賞

毎年恒例の課題コンは、宮中歌会始めの来年度の「お題」に合わせて、わがOMCも、その「お題」を入れた題名の映像作品を作るというもので、今年は予想以上の10作品の応募があつた。

会員数の減った昨今ではあるが、元気で作品に取り組んでおられる会員さんがまだ多いことの証で喜ばしい限りである。例によってくじ引きで上映順を決め、出席者一人3票の枠で投票、1位3点、2位2点、3位一点の割合で採点されるものである。全作品上映終了後、投票に入った。厳正な採点集計の結果次の通りの成績となった。

■投票結果

最優秀賞	王ヶ瀬からの眺望	15票	努力賞	マッターホルンを望む町
	高瀬辰雄 6分30秒		努力賞	関剛 10分00秒
優秀賞	望はただ一つわが町の復興	14票	努力賞	望郷の里
	堀 皓二 9分20秒		努力賞	合原一夫 9分50秒
秀作賞	望春譜	12票	努力賞	展望広場
	山本正夢 6分20秒		努力賞	江村一郎 7分00秒
努力賞	望郷の詩		努力賞	眺望
	紙本 勝 11分50秒		努力賞	進藤信夫 9分50秒
努力賞	望郷		努力賞	「望かなった日本遺産」
	森口吉正 7分40秒			中川良三 8分23秒



高瀬辰雄さん



堀 皓二さん



山本正夢さん

結果発表後、合原会長より最優秀賞の高瀬辰雄さん他全員に記念品(BDディスク)が贈られ、記念撮影をして無事終了した。皆さん難しいと思われた「お題」をうまく解釈して作品を作られたことに敬意を表したい。(合原)

運営担当；第1部進行係、関、書記、合原、記録、中川 上映、岡本（柴辻氏代役）、掲示は紙本、受付兼照明、森下、宮崎の各氏により進行

課題コン

「望」各作品講評

会長 合原一夫

「望」という取り付き難いと思われた課題ですが、10本の作品が応募され、会員諸氏の意欲の高さに敬服、お礼申し上げます。

それでは作品別に少し感想を述べさせていただきますと、トップ賞に輝いた高瀬さんの「王ヶ瀬からの眺望」6分30秒の作品。長野県美ヶ原から冬の南アルプス連峰の絶景富士山と雲海、とにかく寒い冬に2千米を越す山に行かれて撮影されたその意欲にはまず敬服。素晴らしい冬山の景観に圧倒されて皆さん、票を入れられトップ賞になったと思います。惜しむらくはラストの音楽が尻切れになってしまったことで、こういう雄大な景観のBGMには、それに相応しい選曲をして、終わりをきっちり締めてほしいものです。

2位を受賞した堀さんの「望はただ一つわが町の復興」9分20秒の作品です。これは阪神大震災の時の映像と現在の復興した街、そして毎年変わらぬ鎮魂の祈りの映像を、うまく混じえて一つのドキュメンタリー作品を作られました。これは全国コンに出したら賞に入る確率が高い立派な作品だと思います。唯、旧日動火災の社員さんの説明が長いので少し整理された方が、より感動が深まるだろうという気がいたしました。

第3位の山本さん「望春譜」6分20秒の作品、北ドイツの冬、氷上を自転車で走る作者の画面、画面下に1995年11月とありましたので、24年前の山本さんの姿でしょう。山本さんご家族と一緒に、流水、氷原、雪原、犬そりなどの屋外風景と共に、室内では七面鳥料理を囲んだ暖かい室内の様子を撮影されています。奥様がドイツの方と伺ったことがありますので、今は懐かしい貴重な我が家の記録でしょう。冬の北ドイツの雰囲気がよく出ていました。

「王ヶ瀬からの眺望」



「望はただ一つわが町の復興」



「望春譜」



「望郷」7分40秒森口さんの作品。飛騨白川郷の古民家、信濃秋山の民家、南部の曲家と懐かしい江戸時代の古民家を取材されています。曲家では女性3人が藁草履を作っているところに出会い、話しかけて対話を収録されています、古民家の紹介だけでなく、こうした動きのあるカットを持ってこられたのが変化があってよかったと思います。少し気になったのはBGMの選曲で、よく使われている曲をここでも使われたか、という印象を持ったこと。案外見る人は曲のイメージを覚えているものです。

「望郷の詩」11分50秒、紙本さんの作品。石川啄木の生き様を、いろいろ調べて現地に行って撮影してきて纏められた力作です。

26歳の若さで、結核で亡くなるまで、いろいろ苦労し、貧乏しながら後世に残るかかすの詩を残し詩碑も残されています。こういうテーマを課題コンのテーマとして取り組まれた紙本さんの努力と真面目さに敬意を表します。

「マッターホルンを望む町」10分0秒、関剛さん。ヨーロッパ旅行の際撮られた映像。一般の車は通行禁止で、電気自動車や2頭立ての馬車が客を乗せて街を走っている風景はロマンチックさえ覚えます。ショーウインドウも熱心に撮られています。表題のマッターホルンの山は、いつ出るかと思っていたが最後にまとめてドバーッと山の威容の姿が出て堪能しました。画面では場所の説明は無く、ヨーロッパに行ったことの無い者にとっては判りづらいものですが、作者のコメント用紙によれば、8年前にスイスへ旅行されたとき、ツェルマットという町に2泊して町の様子などを隅々まで歩いて撮影されたとのことでした。

「望郷の里」9分50秒、合原・私の作品です。愛唱歌の一つ、細川たかしの「望郷じよんがら」の舞台は津軽ですが、何故かこの曲を聴くと故郷、九州の事を思い出します。聞きながら83時代に撮った、今では見られない貴重な生き物の姿や幼いころの故郷の事が回想されます。そして今年こそ故郷に帰るゾ、と決心したところで作品は終る、という構成を試みました。

「展望広場」7分0秒、江村さんの作品。枚方に豊臣秀吉の関係するお茶屋跡展望広場という場所があるそうです。東海道枚方宿で遊女たちが参拝したとされる神社や本陣跡など秀吉ゆかりの施設があったところらしいですが、ほとんど遺跡が残っていないので、テロップの説明で納得するほかありません。「望」を何とか入れた題名をと考えて「展望広場」の事を思い出された事でしょう。しかし枚方にもこんな歴史があるこ

とを知らしめた作品の意義は大きいものがあると思います。

「眺望」9分50秒、進藤さんの作品。佐渡島にドンデン山という山があるそうで、日の出に合わせて頂上へ上り、360度の眺望の中、日の出を迎えます。この山のあたりは元トキの生育地であり牛の放牧地でもあったとか。今、トキの飼育にも努めて放鳥まで行われているとのナレーションが入っていました。貴重な旅の記録ですが、作品のまとめ方にあと少し工夫が欲しかったように思いました。

「望がかなった日本遺産」8分23秒、中川さん。河内長野市に日本遺産に登録された遺産ができたという内容で、人工音声で解説されています。楠公さん、高野街道、金剛寺、観心寺などが紹介されています。

ネットなどで調べて苦心してまとめられた作品と思いますが、題名の「望がかなった」という主観的な希望がかなえられたという、一種の喜びというか感動みたいなものが、作品にしみ出ていると申し分ないのですが…、今後の課題にして下さい。

■予告；幹事会 12月21日（例会日の第3土曜日）13時より、難波市民学習センター

■予告；世話役会、同じく12月21日例会日の15時より。終了後恒例により軽食提供。どうしても出られない方は事前に申し出てください。会場は案内板で確認の事。

■第19回京都アマチュア映像祭

11月4日（月曜日・振替休日）13時～
場所；京都市下京区河原町通り五条下ル
ひとまち交流館

■第23回大阪アマチュア映像祭

11月17日（日曜）12時30分開場
13時00分上映
場所；大阪市立中央図書館5F大会議室
大阪メトロ千日前線西長堀駅7号出口

・当 OMC から次の4作品が出品されています。どうぞご来場ください

- ① 「蚕さんの里」 10分 紙本 勝
- ② 「酒の神の霊水」 8分 森口吉正
- ③ 北野坂 11分 関 剛
- ④ 望郷の里 10分 合原一夫

※他クラブからの出品ですが当 OMC 会員の作品も出品されています。

- ⑤ 植村牧場のヒデちゃん7分 堀 皓二

通常例会レポート

令和の夏も終わった9月第4土曜日28日18時より通常例会開催。明日は大事な OMC 映像フェスティバルの日。その前日の例会とあって、少し慌ただしい気もするがフェスティバル準備の確認という点では有意義であった。会の始まる前、岡本副会長より明日の役割分担について念押しの説明あり。今日は出席者14名とだんだん淋しくなってきたが、作品のほうは10本とまずまずの出品数。岡本氏の司会担当で開始。なかなかの名司会ぶりを発揮された。

出席者；江村、進藤、紙本、宮崎、堀、関、中川、岡本、高瀬、山本、坪井、合原、森田の14氏

運営担当；司会、岡本、書記、堀、記録、中川 上映、江村、掲示は紙本、受付兼照明、森下、宮崎の各氏により進行。

1、軍港へつながる鉄道 BD
江村一郎 8分

【作者コメント】

明治37年と比較的早く軍事輸送の為発展した舞鶴線には東舞鶴駅と西舞鶴線がありどちらも内陸にあり両駅からそれぞれ港に向う支線があった。その廃線跡と海軍ゆかりの港や赤レンガパークの紹介。



2、岐阜城寸描

進藤信男 9分10秒

【作者コメント】

清州城が根城かと思っていると、この城が飛躍への大きな段階だった。内部の展示も武器ばかりだった意味も考えさせられた。また、「もてなしの信長」と言う地元の説明も考えさせられたが歴史はその時の人達が評価するものと素直に楽しむ事にしました。



3、亀岡光秀まつり BD

紙本 勝 10分

【作者コメント】

初代丹波亀山城主、明智光秀公の遺徳を偲ぶ祭りは47回目で今年は特に銅像の除幕式も行われて結構な賑わいをみせていました。祭りは武者行列の城下町巡行が主ですから作品にし難い面もありました。



4、高槻城の石垣 BD
堀 皓二 14分30秒

【作者コメント】

作者の母校（現槻の木高校）の体育館敷地あたりはその昔高槻城の本丸があった。校庭にその石垣の名残りが7個無造作に置かれていた。地歴部の生徒達はその石たちのルーツを探りながら取り組んだのは、それらの石で石垣を再現してモニュメントを作り文化祭で発表するというプロジェクトを立ち上げ成功するという話。

5、神々の詩 BD
関 剛 3分40秒

【作者コメント】

ルーマニア田舎に点在する修道院。その外壁はキリストにもとづく様々なフレスコ画が壁一面に描かれています。その一部をご紹介します。

6、河内長野「だんじり祭り」 BD
中川良三 8分28秒

【作者コメント】

河内長野の祭りは古いらしく、文久3年（1863年）に高向神社へ奉納された「高向神社祭礼図絵馬」にあるらしい。もうすぐ祭りが始まるが2年前のだんじり祭りを思い出しまとめてみました。

7、六斎念仏 BD
高瀬辰雄 14分30秒 【作者コメント】

1200年前に空也上人が始めたと言われる六斎念仏は京都の伝統芸能として今に伝えられている。お盆を中心に市内の寺、神社などで行われる。その中で高山寺、吉祥院天満宮、壬生寺の六斎念仏を撮影、編集しました。

8、弘前ねぶた BD
山本正夢 6分50秒

【作者コメント】

2年前に津軽を代表する夏祭り弘前「ねぶた」に行ってきました。1722年の文献に初めて登場し、1980年重要無形民俗文化財に登録されました。

9、サミットがやってきた BD
坪井仁志 2分30秒

【作者コメント】

わが町内に世界の首脳がやってきました！日本で初の開催となるG20サミット！まるで戒厳令が発令されたのかと思うような全国から応援にきた警察や自衛隊の皆様と、我が家近くの様子を記録した。

10、小豆島は今も BD
合原一夫 13分53秒

【作者コメント】

平成14年（2002年）OMC撮影会作品。当時OMC世話役だった藤原純三さん、関さんなどの入念なロケハンと関係先の撮影許可を得るなどご苦労をかけた撮影会であった。それだけに霊場巡行や農村歌舞伎の舞台裏を撮影でき思い出に残る作品が出来た。今後、こうした撮影会が出来たら良いなと思ったりするが難しいかも。



第2例会レポート

第2例会は9月19日13時より難波市民学習センターにて開催。朝夕はやや涼しくなったが昼間はまだ30度を超す暑さ。そのせいでもないだろうが、このところ例会の集まりが次第に寂しくなって来た、それでも第2例会としてはまずまずの15名の出席と、課題コン「望」の出品が、なんと10本！のうれしいこと。その他一般作品5本も出品され、時間一杯の例会となった。

出席者；植村、江村、堀、紙本、合原、関、進藤、高瀬、中川、中村、宮崎、森口、山本、森下、岡本の15

氏

運営担当；第2部司会、進藤、書記第1部合原、第2部紙本、記録、中川 上映岡本（柴辻氏代役）、掲示は紙本、受付兼照明、森下、宮崎の各氏により進行。

■第1部 課題コン「望」の部

※別項にあるのでここでは省く。

■第2部 一般の部

1、ダムと水車 BD 紙本 勝 4分5秒

【作者コメント】

明知城と大正村を取材の時、JR中央本線の瑞浪駅からバスを利用（乗客は私1人）途中下車して「道の駅おばあちゃんの里」がある多目「ダム」と日本一（直径24m）の水車を撮影、成る程大きなものでした。ここから明智までのバスも貸し切りでした。



2、五山の送り火 BD 高瀬辰雄 7分10秒

【作者コメント】

8月16日の京都五山の送り火。大文字、舟形、鳥居、左大文字、妙法・・・文字は6つあり、やっと全部揃ったので作品にしてみました。



妙(万灯笼山)

ただ「妙」だけはDVの4:3なので来年撮り直しの予定。撮影は1年に一文字しか無理です。

（書記コメント）

作品づくりに少なくとも5年以上をかけて取材された様ですが、その意欲にまずは敬服。情趣ある精霊送りと祈りの盆踊りを満喫しました。

3、恩智神社夏祭り BD 江村一郎 7分10秒

【作者コメント】

八尾市で毎年8月1日に行われるこの祭り、担がれた布団太鼓と神輿が131段の階段を下り町内を練り歩き、かつての恩智神社があった御旅所「天王の森」へ、夜は元の131段を上り宮入する。見ている者まで元気にさせて祭りは終わる。



（書記コメント）

1500年もの歴史があるという神社の夏祭りの、勇壮さを存分に感じさせる作品で、夜の131段を上る場面は圧巻、随所に夏祭りが見られた。

4、あわじ来て BD 合原一夫 14分0秒

【作者コメント】

平成12年（2000）年、淡路花博のときのOMC撮影会作品。この作品を見返していると、交通不便な淡路島で、お寺さんや鬼瓦公園・花栈敷そして花博会場へと随分あちこち撮影している。ロケハンにお世話役さんは苦勞され、バスの時間や宿の手配と、昼食のことなどよく調べて企画されたことを思い出す。



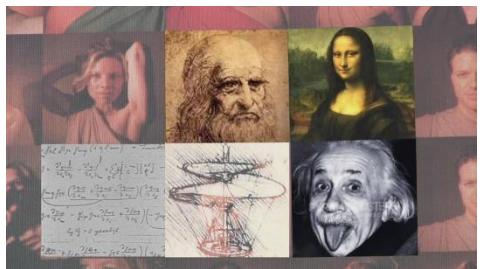
（書記コメント）

国生み神話で最初にできた島は、豊かな自然や食の宝庫、伝統芸能等 観光名所も数多く、「来て」に足を運んでみたい島のように。

5、モザイクの構図 BD 関 剛 2分50秒

【作者コメント】

カナダのモントリオール美術館に立ち寄って外観のモザイクタイルに気付き、イメージが湧いて作ったもの。



（書記コメント）

タイルの外観を見てパロディ作品を制作される、その着想に感心します。

中身が面白く、登場人物を数えてみたら、なんとアインシュタイン他75人程でいずれも国際問題から社会問題まで風刺が効いていて凄いなと思いました。